

朝来発!!

まちのわだい

まちのイベントや地域のお話を届けます

きれいな花に囲まれて

第9回あさごオープンガーデンが5月20日から24日にかけて朝来地域一帯で開催されました。

一般家庭の庭やグループで作った花壇など合計22か所が開かれ、丹精込めて育てた花が多くの人を出迎えました。また、朝来支所前には、東日本の復興を願う「フアイト!日本」の花モニュメントが設置されました。20日と21日にはバスツアーが行われ、昼食会をばさんで全てを見学するコースに44人が参加

参加者は「かわいい花が上手に植えられていて、自宅のガーデンングの参考になります」と話していました。



「きれい」と歓声が上がっていました

被災地の子どもたちへ画材を支援

5月14日と15日、東日本大震災チャリティー展がギャラリ四季彩(多々良木)で開催されました。

展示作品の売り上げで画材を購入し、被災地の子どもたちに届けようと市内外の15人の作家が、絵画や陶芸など約220点の作品を出品しました。

同展のほか、作家が各自個展で作品を販売した売り上げの一部などもあわせ、購入した画材は、市主催の「全国こども絵画選抜展」等に応募している、被災地の小中学校に寄付されます。



値札が付けられた作品が展示

ちびっ子集まれ〜こどもまつりを開催

市は5月5日、ヒメハナ公園で「こどもまつり」を開催。当日は天候に恵まれ、駄菓子屋やスーパーボールすくいなどの露店が並んだ会場は多くの子どもたちで賑わいました。

チャレンジ工房コーナーには、ひょうたん細工やねんど細工、竹とんぼづくり、石けんをカッターナイフなどで削り、形を整えるソーブカービングが子どもたちは、指導者に聞いたり、保護者に手伝ってもらったりしながら一生懸命作品を作っていました。



竹とんぼづくりに挑戦!

あさごふれあいプール「くじら」の利用者が増加

朝来市あさごふれあいプール「くじら」の平成22年度年間利用者数が、平成17年3月のオープン以来最高の4万5668人を記録しました。

これまでの最高は、開設当初の平成17年度に記録した4万2375人でした。その後若干の減少や横ばいの状況でしたが、平成20年度に指定管理者制度(指定管理者:株シンコースポーツ)を導入し、徐々に利用者が増えました。



月会員と年会員の数が大幅に増えました